

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課		
		実施期間	H14 ～	E-mail	go-nagano @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う水際対策措置により、本県の外国人延べ宿泊者数は一時（令和3年）は6.3万人泊にまで落ち込んだが、インバウンド需要の本格再開により令和5年は149.3万人泊を記録し、コロナ禍前の95%程度まで回復。令和6年は1～10月累計値で175.6万人泊と、既に前年の記録を超えており、過去最高記録を更新する予定。
・この需要をさらに加速させるため、これまで実績のある国・地域の需要を確実に獲得するとともに、高付加価値旅行市場へのプロモーションを引き続き行い、観光消費額の拡大を図る。

2 事業目的

現在のインバウンド需要をさらに加速させるため、（一社）長野県観光機構（地域連携DMO）を中心に、外国人旅行者の「滞在日数の長期化」、「消費単価の向上」、「リピーターの獲得」に繋げる、マーケティングに基づいた戦略的なプロモーションを実施するとともに、外国人旅行者がストレスなく、安全・安心・快適に観光を満喫できる環境整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①戦略的なプロモーションの展開
・本県への送客を増加させ観光消費額の拡大を図るため、アジア及び欧米豪（独・米・豪）に設置している現地コーディネーターを活用して現地メディアや旅行会社への働きかけを積極的に行う
②インバウンドが安心・安全に滞在できる受入環境整備の推進
・外国人旅行者が安心・安全かつ、ストレスなく県内を旅行できるよう「NAGANO多言語コールセンター」を運営
③訪日教育旅行の誘致
・県内市町村、観光協会、観光事業者等が連携し、長野県の豊かな自然や文化を活かした体験プログラムの開発・提供や、特色ある学校交流の紹介等により、国内外からの学習旅行・訪日教育旅行の誘致・受入を推進する

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	万人	16.2	26.4	↗	33.6	↗	24	達成 国際航空運送協会（IATA）によると、令和6年の旅客数は過去最高を更新する見込みで、旅客需要は令和5年から令和25年まで毎年3.8%の成長が見込まれていることから、令和6年見込み値の3.8%増の値で設定した。
②	NAGANO多言語コールセンター利用件数	件	953	1,198	↗	1,743	↗	960	達成 R6宿泊旅行統計調査によると本県訪日客数はコロナ前のR元実績を上回るも対前年比での伸び率は横ばいであり、R7年度も同水準で推移すると予測し、目標値を設定した。
③	訪日教育旅行の受入件数	件	45	67	↗	47	↘	60	未達成 受入案件の質を確保するためには、現状の人員体制では学校長期休暇期間を除き週1～2件程度の受入が限界であることから、10カ月×4週間×1.5＝60件と設定した。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆観光消費額	億円	2023 (R5)	8,549	2024 (R6)	10,047	2025 (R7)	10,866	2027 (R9)	11,500
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2023 (R5)	541	2024 (R6)	1,136	2025 (R7)	1,305	2027 (R9)	1,750
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆外国人延べ宿泊者数	万人泊	2023 (R5)	149	2024 (R6)	234	2025 (R7)	251	2027 (R9)	330

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	140,005	0	140,005	116,741	132,802	3.0
R6年度	0	130,823	777	131,600	107,561	131,600	3.0
R5年度	0	104,677	5,000	109,677	86,596	105,554	3.0

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業			部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課		

7 主な取組実績と成果

①戦略的なプロモーションの展開

- ・独・米・豪・中・タイの5カ国に現地コーディネーターを設置し、現地で旅行博への出展やセールスコール等を実施
- ・米国及びインドネシア・ベトナムでのトップセールスに併せ、現地でセミナーや商談会等の観光プロモーションを実施
- ・Facebook等のSNSにおいて、英語、中国語（簡体字、繁体字）、タイ語での情報発信を行い、本県観光コンテンツのPRを実施
- ・県内旅行商品の企画から造成、販売までの一貫した体制を整備するため、Nagano Travel Operation Center（N-toc）を設置し、ツアー商品17本を新規商品造成、78社の取引先候補を新規獲得

②インバウンドが安心・安全に滞在できる受入環境整備の推進

- ・24時間、22言語対応の「NAGANO多言語コールセンター」を運営し、通算1,743回の利用実績あり

③訪日教育旅行の誘致

- ・台湾に現地コーディネータを1名配置し、旅行会社や学校関係者へ継続的にセールスを実施。
- ・6月に台湾にてJNTO主催の訪日教育旅行商談会へ参画するとともに、県独自の商談会・セールスコールを2都市で開催。
- ・10月にJNTO主催で台湾教育旅行関係者の現地視察を受入。
- ・訪日教育旅行に係る学校交流及び視察の調整を実施し、6つの国・地域から、47件・1,254人を受入。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	欧（独）米豪市場からの延べ宿泊者数（暦年）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
円安等の影響もありインバウンド需要が拡大する中、欧（独）米豪にそれぞれ現地コーディネーターを設置したり、現地での観光PRイベントを開催するなど市場別に戦略的なプロモーションを行った結果、目標値以上の誘客に繋がったと考えられる。							
指標②	NAGANO多言語コールセンター利用件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
インバウンド需要が拡大し訪日旅行者数が増加するのに比例し、多言語コールセンターの利用件数も増加したと考えられる。							
指標③	訪日教育旅行の受入件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
案件の大半を占める台湾・中国からの渡航キャンセルが発生したため。（台湾：「7月に日本で大地震が発生する」との風説の拡散、中国：11月以降の中国政府による渡日自粛要請）							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・円安等の影響によりインバウンド需要が拡大したこともあり、本県の訪日外国人旅行者の延べ宿泊者数は約251万人を記録し、過去最高記録を更新した。アジアを中心とした本県実績国からの誘客には引き続き取り組みつつ、更に高付加価値旅行者層を誘客するため、欧米豪や香港、シンガポールを中心とした高付加価値市場に向けた取り組みを拡充していくことが課題。
- ・受入環境整備の推進について、県内観光事業者からは外国語対応が十分には行えていないとの声が聞かれており、旅行先スタッフとのコミュニケーションに加え、不測の事態による緊急通報（警察、消防）への適切な対応を図るため、多言語コールセンターについて旅行者への周知が必要。また、文化や習慣の違いによる迷惑行為が県内で確認されているため、外国人旅行者が、観光マナー等を意識、理解してもらうための能動的な啓発が重要。
- ・訪日教育旅行については、安定的な案件獲得が重要。主要受入元である台湾、中国は、外交上その他特殊な外部要因により訪日自体が見送られることがあるものの、訪日可能となったタイミングに引き続き来県してもらえるよう、既存のネットワークを活用した継続的な働きかけが必要。

(2) 事業改善の方策

- ・高付加価値旅行者層の誘客を強化するため、トップセールス等により長野県の認知度の向上や現地旅行会社等とのネットワーク構築を図るとともに、県内事業者への販路開拓の支援として、県が実施する欧米における現地プロモーションに参加する県内事業者に対し、登録料や渡航旅費の補助を行う。
- ・受入環境の整備として、多言語コールセンターについて周知が可能なパンフレット等を制作し、県内各地で配布・設置する。外国人旅行者等が観光マナーを正しく理解し、観光事業者等が啓発のため活用することができる、インバウンド向けマナー啓発動画を多言語で作成する。
- ・訪日教育旅行の誘致のため、主要市場である台湾への現地コーディネーターの設置や、学校交流のマッチング・調整、交流内容の助言、当日の運営サポート等を実施する。

事業番号	08 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業			部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	インバウンド誘致促進事業		103,710 千円	42,201 千円	30,587 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	アジアプロモーション事業	負担金	長野県公式観光サイト「Go NAGANO」やSNSを用いたデジタルプロモーションの強化、及び現地プロモーションを実施し、誘客を促進 ・Go NAGANO多言語版での記事掲載：3言語計10本、SNS投稿：計467本 ・現地プロモーション：中国、タイ、台湾 各1回		
2	アドベンチャーツーリズム推進事業	負担金	国際水準のガイドを育成するため、ガイドの基礎知識研修やガイドングスキル研修を実施 研修開催回数：4回、参加者：55名		
3	インバウンド商談会事業	負担金	（一社）長野県観光機構が主催し、県内観光関係者と訪日旅行を取扱う旅行会社との商談機会を提供 商談会開催回数：1回、県内観光関係者参加数：40団体		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	高付加価値旅行市場開拓に向けたプロモーション事業		－ 千円	55,304 千円	63,408 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	海外現地コーディネーター設置	負担金	米豪独の3カ国に設置。旅行商品の多様化と認知度の向上のため、現地セールス代理として、旅行会社への営業活動やメディアへの情報提供等を実施 ・旅行会社向けセミナー開催：米（リアル）、豪・独（オンライン）…各1回、合計参加者数173名 ・旅行会社との共同広告：米豪独各1社		
2	Nagano Travel Operation Center（N-toc）の運営	負担金	県観光機構に設置した、旅行商品の企画から造成、販売までを一貫して行う本組織にて、国内外の商談会等に参加し、本県への送客と受入体制を強化 商談件数：78件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	インバウンド誘客関連団体負担金		－ 千円	8,585 千円	9,857 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	（一社）中央日本総合観光機構負担金	負担金	中部北陸9県が連携し、インバウンドデータの収集・分析によるマーケティングを踏まえた現地商談会や情報発信等の共同事業を実施 共同事業実施件数：11件		
2	（一社）関東広域観光機構負担金	負担金	SNSを活用し、サステナブルに関する観光コンテンツを発信するデジタルプロモーションを関東広域の都県と連携して実施 SNS事業 長野県コンテンツ投稿件数：18件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	海外トップセールス事業		－ 千円	5,433 千円	9,701 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	観光プロモーションイベント	直接 委託	長野県の旅行商品造成を促進するため、旅行会社を対象としたセミナー・商談会を開催 現地旅行会社参加数：115社（インドネシア、ベトナム、米国）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	インバウンド支援センター設置事業		1,844 千円	5,652 千円	5,810 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	国際観光情報発信員による情報発信事業	負担金	長野県公式観光サイト「Go NAGANO」等による情報発信を実施 多言語情報発信：7言語		
2	多言語コールセンター設置事業	負担金	訪日客の安心・安全な滞在と円滑なコミュニケーションを図るため「NAGANO多言語コールセンター」を運営 通訳対応時間：24時間365日、通訳言語：22言語		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	学習旅行誘致推進事業		－ 千円	14,425 千円	13,439 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教育旅行の誘致・受入調整	負担金	国内外からの学習旅行・訪日旅行誘致を図るため、学習旅行誘致推進員の配置等により、誘致・受入を推進 学習旅行誘致推進員の配置数：1名		